

令和8年度 第1回武蔵野市産業振興審議会 要録

【審議会概要】

日 時	令和8年6月30日（火）午前10：00～正午
場 所	武蔵野市役所 813会議室
出席委員	福田敦会長、小田宏信副会長、高橋勇委員、坂井健司委員、田中栄子委員、平湯友子委員、田川良太委員
事務局	小池産業振興課長、花岡係長、村重まちの魅力向上担当係長、小澤主任、林主任
審議会 次 第	1 開会 2 議題 (1) 報告事項 ア まちとわたしとあなたプロジェクト2025の実施状況について (2) 審議事項 ア 令和8年度における各施策の取組内容・達成指標について 3 閉会
配布資料	・次第 ・資料1 令和8年度まちとわたしとあなたプロジェクト_アンケート結果 ・資料2 第三期武蔵野市産業振興計画管理・評価シート(案) ・資料2ー2 参考資料 令和7年度 計画管理・評価シート ・資料3 産業振興審議会委員名簿 ・資料4 令和8年度スケジュール

【議事】

1 開会

配付資料の確認

2 議題

(1) 報告事項

ア まちとわたしとあなたプロジェクト2025の実施状況について事務局より説明

坂井委員	ワークショップについて、街の課題にコミットしたいという熱意をもっている方がたくさんいることを改めて感じた。AWARDに向けても皆さんミーティングを重ねており、資料や発表のスタイルにも熱意を感じた。最優秀賞の案についても、地域の関係が希薄になっている中で、挨拶をするという原点に立ち返ったコミュニケーションを取り戻そうという印象を受けた。 今後について、この新しい取り組みをどのように形にしていくかは産業振興審議会に課せられている部分もあるように思う。
会 長	今回は商店街だが、生活と産業の繋がりの中に見えないニーズを探していき、問題を解決していくことも大切だと感じる。このようなワークショップで機会を作っていくと良いのでは。
高橋委員	先程の報告の中で、具体的な形で進めていくという話があったが、方向性は決まっているのか。
事務局	「ワッペンを付けている店員さんには話しかけて良い」というプロジェクトを商店街全体で行う案が出ている。
高橋委員	街と言っても、武蔵境、三鷹、吉祥寺では街のあり方が全然違うので、そのことも考えながら進めてもらえるとありがたい。
平湯委員	具体化に向けて、市民の方の熱量を大事にしたいと思う。アイデアだけもらって市で形にするのではなく、このイメージで合っているかなど最後まで確認しながら進めていただきたい。
事務局	グループが主体となって企画案を提出してもらおうなど、市が主導にならないように進めている。市では、行政と商店会などの繋ぎ役を担っている。

田 中 委 員	武蔵野市のLINEでは様々なプロジェクトをしっかりと投稿されている印象を受けるが、ホームページからはなかなかこのような情報にたどり着けない。市民に対するリリースが十分ではないと感じるため、いつでもこのような会に参加できるという案内も含め、告知を進めていただきたい。
事 務 局	おっしゃる通り、広報の在り方は重要だと考える。現在、デジタル・アナログともに広報を進めているが、市の広報は難しい部分もあると感じている。広報アドバイザーなどの意見も聞きながら、皆さんに伝わる方法を今後も検討していきたい。
会 長	今回のワークショップやアワードは様々な年代の人が参加しているため、若い人も巻き込んでいくという方法もあると思う。

(2) 審議事項

ア 令和8年度における各施策の取組内容・達成指標について事務局より説明

平 湯 委 員	【施策7 子どもや子育て世代とともに創るまちの魅力】 子どもの意見を聞く際に大切にしたいのは、市が企画したヒアリングの会に「参加してもらう」のではなく、子どもたちの「場」に行政が出向いて声を聞き取るという姿勢である。例えば、東京プレイパーク、イギリスのプレストリート等でも見られるように、道を貸し切って人々が出会うという取り組みがある。葛飾区では商店街で人生ゲームのような企画も行っている。このように、子ども達が自然と街であそび、つながるような環境の中でこどもの意見を聞いていく、または大人がそれを見て子どものニーズを拾い上げる、把握するなど、まずは行政側が「開いている」「聴きに行く」というメッセージがあると良いと思う。 【施策14 環境に配慮した事業活動の推進】 武蔵野市のイメージは「緑と賑わい（商店街）」というイメージである。その中で、ただ目に見える緑を増やすというだけではなく、緑と産業が一体化することでまちづくりに繋がっていくこともある。例えば、緑を共にしたお店の心地良さなど、緑化と産業が連携していくことも大切だと感じる。
事 務 局	【施策7 子どもや子育て世代とともに創るまちの魅力】 現在も商店街では様々なイベントを行っているが、東京都の補助でも子ども向けの項目ができており、今後さらに広がっていく見込みである。まちプロでもキッズニアの話が出ているので、そのような内容もヒントに、商店会と連携をして子どもに着目していきたい。 【施策14 環境に配慮した事業活動の推進】 緑との連携は、公園を使用したイベントなどが多少あるが、具体的なものはあまり思い浮かばない。環境フェスタとの連携や、桜まつりでの環境部門等、今後も引き続き検討していきたい。
坂 井 委 員	【まちとわたしとあなたプロジェクト】 今後の展開について、継続でまちプロ行うのか、新たな事業を行うのかというところが先ほどの話では出ていなかったように思う。去年は地域や人の繋がりがメインであったが、残りの3年を考えると、次の「産業振興について」を考えた方が良いのでは。CO+LAB MUSASHINOのように現在ある事業をどう繋げるかではなく、武蔵野発の産業創出の観点でまちプロのワークショップを行うなど、ゼロベースから産業を作っていく夢のある議論を行ったらどうかとを感じる。 【施策1 個性豊かなまちの魅力の醸成・発信】 達成指標の数値を設定しているが、この数値を達成するためにどのような支援をするかが大事だと思う。pv数やフォロワー数の目標も低いと感じるため、目標の妥当性をもう少し検討した方が良いと感じる。 【施策3-③ クリエイティブ産業と連携した事業展開】 昨年高円寺で開催されたTOKYO INDIE GAMES SUMMITのように、別の行政区域で行われるイベントへの支援について、この計画に記載する妥当性への疑問は感じる。 【施策6 活力とにぎわいを生み出す商店会(街)・事業者支援】

	【施策7 子どもや子育て世代とともに創るまちの魅力】 具体的な実行プランや場づくりに向けた動きをしていくタイミングにきていると感じる。計画が終了するまでの残り3年間で、何かを達成するためにはそろそろアクションを起こす必要がある。「ニーズを把握する」等だけでなく、具体的な達成指標も計画に入れていくべきである。 【施策8 次代を担う学生等と連携した新たな価値創造】 近隣の大学で英語を学んでいる学生が、吉祥寺に来訪する外国人に向けてボランティアをやりたいと観光機構に相談に行ったが、あまり話を聞いてもらえなかったという話を聞いている。このような計画があるのであれば、前向きに話を聞くことが大切だと感じるため、計画について庁内でも連携してもらいたい。 【施策11 時流や変化を捉えたデジタル化・DXの推進】 DX化についてはやれることはやったという印象である。次に何を支援していくかが課題となるため、ニーズのヒアリングが大切だと感じる。 【施策14 環境に配慮した事業活動の推進】 環境政策課が担当するエコポイントについて、環境政策課が関わる範囲の小さい世界で行われている印象がある。もっと商店街と連携していくことにより、商店街の環境に対する思いや意識の向上にも繋がるのではないかと思う。小さい枠組みの中で行うのではなく、庁内の連携もしっかりと行ってほしい。
事務局	【まちとわたしとあなたプロジェクト】 次年度もワークショップの形で実施したいと考えている。学生さんを絡めても面白いのではないかという意見もある。先程いただいた意見も踏まえて、どのようなテーマで行っていくかを検討したいと思う。 【施策1 個性豊かなまちの魅力の醸成・発信】 目標数値については、これまでの実績等を踏まえて短期的に設定している。目標が低いという意見については、改めて検討したいと思う。 【施策3-③ クリエイティブ産業と連携した事業展開】 TOKYO INDIE GAMES SUMMIT は市内での開催に向けて事業者と連携しているため、他自治体での実施についても支援をしているという現状である。また、昨年の会場は杉並区であったが、吉祥寺の大型店等も巻き込んだ展開もあったため、計画にも記載している。 【施策6 活力とにぎわいを生み出す商店会(街)・事業者支援】 【施策7 子どもや子育て世代とともに創るまちの魅力】 おっしゃる通り、検討段階から実行するタイミングに移す必要があると感じているため、今年度は商店会に協力いただきながら検討していきたいと考えている。 【施策8 次代を担う学生等と連携した新たな価値創造】 今回の対応については申し訳ないと感じるため、今後も相談をいただいた際には丁寧に対応していきたい。現在も、学生から産業振興に関するヒアリングを受けたり、麦わら帽子などへも学生さんの体験等の案をいただくことがあるため、今後もしっかりと対応していきたい。 【施策11 時流や変化を捉えたデジタル化・DXの推進】 今後の在り方を検討し、東京都の補助についても注視していきたい。 【施策14 環境に配慮した事業活動の推進】 他部署で様々なポイントがあるため、そのようなものを統合させて、商店街で使えるような検討もしていきたい。
田中委員	エコポイントは武蔵野在住ではなく武蔵野市の事業者や来訪者も利用できるものがあると良い。DX化について先ほど進んでいるという話があったが、住民税の分厚い納付書が毎年届く。市自体が非常にアナログだと感じるので改善してほしいと思う。 【施策3 豊かで多様な市民文化と産業の連携】 国がアニメーション等のクリエイティブ産業への助成を充実させて日本の産業の柱にしていく動きがあるため、武蔵野市もそのような助成金を利用して人材育

	成等も推進していただきたい。アニメーションはクリエイティブというコミュニケーションの高いツールとしての文化的価値に変わってきているため、学校教育にも取り入れることを検討していただきたいと思っている。他自治体では授業や学科としてアニメーションが採用されている例もあり、学問としても成長しつつある。イベントとして楽しむだけでなく、教育にも取り入れて、「産学官」が結びついた足場を作してほしい。 また、デジタルマップにキャラクターが登場する、商店街の顔が見えるなど、親しみやすいものを作り、字ばかりではない告知の仕方を検討されたら良いのではないかと思う。 【施策1 個性豊かなまちの魅力の情勢・発信】 沖縄県・広島県・高知県・新潟県・北海道はアニメが産業としてほぼ確立している。アニメーション事業者の雇用環境づくりという観点で、リスクリングに関することも含めて問い合わせがたくさん来ているため、今がチャンスだと思っている。武蔵野市のアニメ会社は増えており、40社ほどになっている。実績がある会社も多いため、施策に向けて一歩踏み出していただきたい。
事務局	エコポイントについては他部署にも共有しておく。DX化については検討が進められている部分もあるが、まだ市では紙文化が残っているため、全庁的な課題だと思っている。ご指摘いただいた内容は担当にも伝えて、検討していきたい。 【施策3 豊かで多様な市民文化と産業の連携】 武蔵野市に事業者が増えていることは武蔵野市の価値だと思っている。今年度の市政施策にもクリエイティブ産業への支援が含まれている。教育との連携については以前からお話を伺っているため、また改めてお話をさせていただければと思う。 デジタルマップについても、市内のアニメ事業者と連携が図れると良いと思ったため、観光機構とも連携をして改善を図っていきたい。 【施策1 個性豊かなまちの魅力の情勢・発信】 事業者への雇用環境作りの支援については、他自治体の事例も研究しながら、市としてできることを検討していきたい。
高橋委員	アニメは武蔵野の文化として継承し、どんどん発信していくべき。武蔵野のアニメの会社は拡大しているのに、事務所の空きテナントがないのが問題。 【施策1 個性豊かなまちの魅力の醸成・発信】 （ふるさと応援寄附について）家電メーカーがいつ市外に転出するか分からない。アニメなど、他にも視野を広く、現在の返礼品が提供できなくなった時のことを考えて今からいろいろ発掘してほしい。 【施策2 新たな価値を生み出すまちづくり】 補助金などを拡充し、武蔵野に来て事業しませんかという発信を。空き店舗がないからよいのではなく、（空き店舗が）できるとあつという間に街は衰退する可能性がある。 【施策3 豊かで多様な市民文化と産業の連携】 商工会議所でアニメの聖地化を進めている。トランスボックスでまちの景観が変わってとてもよかった。引き続き進めてほしい。 【施策5 暮らしを豊かにする都市農業の振興】 災害用井戸について 武蔵野の農業が減っている。農産物を作るだけではなく、社会的な使命もあることを農業従事者に伝えていくべき。 【施策13 未来につなげる事業承継支援】 吉祥寺は事業承継が大変。老朽化などの問題も。地域のイベントに子どもたちが参加することや、大学生等も巻き込んだ施策を進めていってほしい。
事務局	会場がない問題について、民間の事業所や専門学校なども当たって検討中。大きな課題だと思っている。 【施策1 個性豊かなまちの魅力の醸成・発信】

	ふるさと応援寄附は95%を有名家電メーカーが占めているが、これがあれば良いとは思っていないため、日々開拓に努めている。松屋フーズや時計のKnot、梅津財団などもある。コンセプトを大切に今後も開拓を進めていきたい。 空き店舗対策については、出店支援金にご好評いただいている。今後、空き店舗対策という名目を前面に出してやっていくかは検討中だが、引き続き会議所等の見解を聞きながら、今後の展開を考えていきたい。 【施策5 暮らしを豊かにする都市農業の振興】 井戸は雨水の貯蓄などに大変重要だと認識している。逃げ場や食べ物の供給場所として、しっかりと守っていきたい。 【施策3 豊かで多様な市民文化と産業の連携】 マンホールカードが人気で市内に来る契機にもなっている。今後の展開としてトランスボックスの活用なども検討していきたい。
平 湯 委 員	アニメだから人を呼べる・お金になるという話ではなく、音楽とか他にも色々な表現があって、人の表現の柔らかいところを大事にしつつ人を呼ぶというのが読み取りにくい。入れるとしたら②のところ。まず触れた人が豊かになった上で文化と繋がっていき、結果的に人を呼ぶことになればよいと思う。
会 長	付加価値の高いものを目指し、それを理解できる人が集まってくる。差別化にもなる。様々な観点でまちづくりを進めていく必要がある。
副 会 長	「つながる場」がキーワードだが、つながれる場はまちプロだけではない気がしていて、見せ方の問題としてCO+LAB MUSASHINOのマッチングや多摩コムをむさしので復活させた話、認定創業支援施設などもつながる場になっているのでは。トータルで見せていけたら。
事 務 局	事業承継なども「つながる」。CO+LAB MUSASHINOもプラットフォームづくりになっている。見せ方は参考にさせていただきたい。
高 橋 委 員	この産業振興審議会に観光機構にもオブザーバーとしてでも出てもらったほうが良いのでは。
田 川 委 員	【施策20 経済危機に対する事業継続への備え】 イラン中東情勢問題で産業が受けるダメージに対して産業振興課としてとして何ができるかと考えたときに、あまりできていないことを実感した。情報収集能力や即時性のある対応ができる体制などを作っていかなければいけないと感じている。
会 長	【施策20 経済危機に対する事業継続への備え】 20も施策があるのは多い。円安が進んでいる状況、人手不足など、問題が山積みだが、それぞれ別の問題ではなく、つながっている。 その中でリーディングプロジェクトは何なのか。優先順位と繋がった問題の中で共通した部分を共有できると、色々な意見も出しやすいのでは。 審議会については、金融機関なども関連してくるので、会議のメンバーに入れても良いのでは。 国への要望事項としても、中東情勢の話は盛り上がっている。ポストアップの問題として、仕入れ価格を販売価格に転嫁できていない。原料費は転嫁し役位仕組みになっているが、「B to C」で価格抑制圧力がすごく強いことについて理解を求める意見がかなり増えている。 【施策19 消費生活の向上と学びの推進】 消費者間での問題も大事な視点になるため、現状を理解し、中長期的な目標を入れる必要がある。 事務局には当初の原案についていただいたご意見を反映して修正をお願いしたい。

(3) その他

令和8年度のスケジュールについて事務局より説明

事 務 局	委員の皆様に関して、7月で任期が2年となります。来年度は第4期計画に向けた方向性づくりなどもアンケート等を取りながら進めていきたい。次期もぜひご就任いただきたい。 以上を持って、令和8年度第1回武蔵野市産業振興審議会を終了する
--------------	---